

豊岡演劇祭2024フリンジ【ショーケース】公募要項

【豊岡演劇祭2024フリンジ【ショーケース】の特徴】

- 1 一つの会場を複数団体でシェアするショーケース形式での公演
- 2 スタッフ（舞台監督・音響・照明・当日運営）は演劇祭が用意
- 3 公演期間中の宿泊は演劇祭が用意
※演劇祭開催エリア外からの参加者が対象。
- 4 公演期間中に参加者を対象としたワークショップを開催
- 5 チケット売り上げは団体側に分配
- 6 地域通貨【豊岡演劇祭応援コイン】をプレゼント
一団体につき10,000円相当を贈呈
- 7 フェスティバル関係者や劇場関係者等へ演目を紹介

【上演だけでない、ショーケースプログラム】

豊岡演劇祭フリンジ【ショーケース】ではこれまで、コロナ禍でのリスクや活動を始めたばかりの団体、大都市圏で活動するアーティスト以外の皆さんにも演劇祭に参加していただくため、演劇祭側からテクニカルスタッフの用意や宿泊場所の提供・費用負担という形でサポートを行ってきました。

これまでの実施を振り返り、さらに一步踏み込んだ形で、参加していただくことに意義のあるプログラムとしたいと考えてきました。これまで同様上演についての支援はもちろん【ショーケース】という枠組みが一般的な見本市的機能にとどまらず、参加者同士の交流や、地域や、フェスティバルの取り組みと出会えるような場所になればと考えています。

豊岡演劇祭2024フリンジ【ショーケース】概要

- 開催期間（予定）：第1クール 9月15日（日）～17日（火）
：第2クール 9月20日（金）～23日（月・祝）
※上記期間にワークショップやレクチャーの日程を含む。
- 採択予定数：6団体程度（各クール3団体を想定）
- 予定会場：芸術文化観光専門職大学内 小劇場・そぞろ座（客席予定数約30席）
<https://www.at-hyogo.jp/>

【応募条件】

下記内容をすべて満たす団体および個人

- (1) 座組み人数についての制限はありません。
ただし、演劇祭が用意する宿泊補助については1団体につき最大5名までとします。
- (2) 上演時間は30分以内を目安とすること。
舞台の転換時間は5分程度（スタッフのサポートあり）を目安としてください。
- (3) 企画運営・上演に関して、円滑なコミュニケーションが可能であること。
- (4) 豊岡演劇祭の示す各種ガイドラインにご協力頂けること。

【応募方法】

- 応募フォームはGoogleフォームを利用して行います。
- フォームに入力する項目は要項末尾に記載しております。

【選考基準】 ※応募者多数の場合のみ

応募資料をもとに企画性を考慮して、演劇祭事務局が総合的に審査します。

【サポート】

- スタッフ（舞台監督・音響・照明・当日運営）は演劇祭事務局が手配します。
 - 音響・照明のオペレートは、基本的に事務局手配スタッフが担当いたします。複雑・精巧なオペレートを必要とする場合は、参加者でオペレーターをご用意ください。映像を使用する場合は機材、ケーブル、オペレーター等は参加者でご用意ください。
 - 音響、照明プランについては演劇祭スタッフが行います。（音響は基本セッティング、照明は地あかりを基本とし、事前の打ち合わせを経てプランを作成します。）
 - 劇中に使用するSEなどの音源は参加者にてご用意ください。
 - 舞台上は基本素舞台ですが、置き道具等は持ち込み設置可能です。

- 公演期間中の宿泊は演劇祭が用意します。
 - 1団体につき最大5人まで宿泊費を演劇祭が負担します。（6人目からは団体負担となります。）
 - 宿泊の用意は、演劇祭開催エリア外からの参加者が対象です。宿泊は団体内での相部屋です。（1団体につき人数に応じて1～2部屋を想定しております。）
- 広報は演劇祭事務局がサポートします。
- チケットの管理・販売は原則演劇祭事務局が行い、売上を団体に分配します。
- フェスティバル関係者や劇場関係者等へ演目を紹介します。
- 受付エリアでの物販スペースを提供します。（販売スタッフは参加者にて配置をお願いします。）
- ショーケース参加者のためのプログラムを実施します。

※下記の内容については現在調整中のものであり、変更の可能性があります。

ワークショップファシリテーターとは何か？

豊岡市では2022年より市内の全ての小学1年生を対象に演劇ワークショップを行っています。その取り組みは子供達の非認知能力向上を目的とした取り組みです。

参考URL：<https://ebara-riverside.com/introduction/workshop/>

（江原河畔劇場Webサイト）

どんな人に向けて、どんな課題に対して、演劇の持つ力を応用するか、場のデザインを考え、実現するファシリテーターについて学べる内容を予定しています。

ショーケースの参加者に、教育現場のみならず、さまざまなシーンで活躍するファシリテーターをめざす入門編ワークショップを体験していただきます。

（3時間程度を予定）

豊岡演劇祭「但東さいさい」の取り組みについてのレクチャー

豊岡市の但東地域において、地域の農村歌舞伎舞台や民話を元に作品を作る『但東さいさい』というプロジェクトを行っています。

参考URL：<https://toyooka-theaterfestival.jp/2022/program-event/5014/index.html>

（豊岡演劇祭2022 | アーカイブ）

地域の人々との関わりや作品において地域の文化的資源をどのように扱うべきか、様々な課題と向き合いながら今年も演劇祭において上演が予定されています。

その取り組みについて、実際の作品をご覧いただくとともに、プロジェクトのプロデューサーやアーティストとも意見交換を行います。

（観劇（移動を含め半日程度）＋トークセッション1時間程度を予定）

●ショーケース公募期間：2024年3月28日（木）～ 4月19日（金） 9:00

[専用応募フォーム申込のみ受付]

●結果通知（予定）：2024年5月下旬までにメールにて連絡

●結果通知後の流れ：オンラインを中心に各団体と個別調整を行います。

【想定スケジュール】※日程は前後する可能性があります。

<第1クール>

豊岡入り日 2024年9月13日（金）もしくは14日（土）
場当たり日 2024年9月14日（土）1団体あたり150分程度を予定（休憩含む）
ゲネプロ日 2024年9月15日（日）
本番日 2024年9月15日（日）～17日（火）※3ステージを検討中

<第2クール>

豊岡入り日 2024年9月18（水）もしくは19日（木）
場当たり日 2024年9月19日（木）1団体あたり150分程度を予定（休憩含む）
ゲネプロ日 2024年9月20日（金）
本番日 2024年9月20日（金）～23日（月・祝）※3ステージを検討中

※隣接会場の公演スケジュールにより、調整が入る可能性があります。

※滞在期間中に参加者向けのプログラムを実施予定です。（日程調整中）

【チケットに関して】

- チケット管理・販売は原則、豊岡演劇祭が行います。
（補助金などを利用する場合は別途ご相談ください。）
- 3演目通し券（¥ 2,500）と1演目券（¥ 1,000）を設定予定です。
売り上げは販売手数料を引いた金額を参加団体で均等割します。（クール毎）
- 豊岡演劇祭パスポート（仮）による販売があります。パスポート販売分の団体への配分について、詳細決定次第お知らせします。

【注意事項】

- 制作支援金、交通費の支給はありません。
- 演出効果として火気・水などを使用を希望する場合は予めご相談ください。

【その他】

- ゲネプロ・本番での豊岡演劇祭関係者の観劇、およびゲネプロでの記録撮影へのご協力をお願いします。
 - 可能な限り報道各社の取材にご協力ください。
 - 芸術文化観光専門職大学の実習生がスタッフとして参加する場合があります。
 - 応募や上演に関してのご質問はメールにてお問い合わせください。
お問合せ先メールアドレス ttf.fringe.2024@gmail.com
-

【フォーム記入内容】

- (1) 豊岡演劇祭2024【ショーケース】参加への条件同意
- (2) カンパニー基本情報
 - ・カンパニー名
 - ・代表者名および連絡先（電話番号）
 - ・活動開始年
 - ・活動拠点（都道府県）
 - ・WEBサイトURL
- (3) 希望日程（第1クールor第2クール）
- (4) 公演を希望する企画について
 - ・タイトル（新作の場合は仮タイトルでも可）
 - ・企画概要（簡単なあらすじ・演出プランなど・200文字程度目安）
もしくは企画書の添付
 - ・予定している座組の人数
- (5) 過去公演などの動画URL（動画・台本データなど）
動画内において注目してほしい時間帯（10分程度指定）
- (6) 車両の利用予定（車や普通自動車免許の所持自体は必須ではありません。）
- (7) 火気、水、映像 および特殊効果の使用予定
- (8) 補助金利用の有無（有の場合は記載）
- (9) 備考（補足事項やご不明な点などございましたら、ご記入ください。）
- (10) 公募に関するアンケート

※フォームを送信するまで入力内容は保存されません。ご注意ください。

